



令和5年5月23日

令和5年度 東京消防庁・江戸川区合同総合水防訓練を実施します

台風や集中豪雨が多発する時季を前に、東京消防庁、水防管理団体及び関係機関が連携した訓練を実施します。

訓練には、熱海市の土石流災害を受け、全国の消防機関として初めて整備した土砂等を吸引できる強力吸引車をはじめ、即応対処部隊、消防救助機動部隊、消防ヘリコプター等の消防部隊、江戸川・葛西・小岩消防団員、江戸川区職員、地域住民など合計33機関、約550名が参加し、実戦的な住民参加型の訓練を実施し、地域防災力の向上を図ります。

1 日 時

令和5年5月27日（土）10時00分から11時30分まで
（広報展示については10時00分から13時00分まで）
当日のスケジュールについては別表参照

2 場 所

江戸川区篠崎町一丁目先 江戸川右岸河川敷（別図第1参照）

3 点検者等

点検者	消防総監	吉田 義実（よしだ よしみ）
	江戸川区長	斉藤 猛（さいとう たけし）
統裁者	警防部長	木下 修（きのした おさむ）
	江戸川区長	斉藤 猛（さいとう たけし）
指揮者	第七消防方面本部長	山本 登（やまもと のぼる）
	江戸川区危機管理部長	町山 衛（まちやま まもる）

4 参加人員等（予定）

東京消防庁	400名	江戸川区	12名
江戸川消防団	29名	葛西消防団	10名
小岩消防団	10名	江戸川区内自治会・町会	10名
江戸川消防少年団	5名	関係機関	70名

合 計 参加人員 33機関 約550名

5 参加車両（予定）

消防車両 47台

消防艇 2艇

消防ヘリコプター 1機

合計 参加車両 50台

（消防艇、消防ヘリコプターを含む。当日の天候により変更になる可能性があります。）

6 訓練想定

台風の影響で活発化した前線に伴う集中豪雨により、道路の冠水や家屋への浸水、土砂災害が多発した想定で訓練を実施します。

消防部隊をはじめとした防災機関は、川の氾濫を防ぐための活動、浸水した建物や土砂災害により倒壊した家屋、河川に流された要救助者の救出救助活動を展開します。

7 留意事項

- (1) 取材を希望する社は、5月26日12時00分までに広報課報道係までご連絡ください。
- (2) 雨天時は原則決行しますが、状況により訓練を中止する場合があります。当日6時00分までに決定しますので、広報課報道係までお問合せください。
- (3) レクチャーは、9時30分から報道関係受付場所（別図第2参照）で行いますので、それまでに受付を済ませてください。
なお、報道関係受付は、9時00分から報道受付テントで行います。
- (4) 現場は消防隊、消防車両等が頻繁に往来するほか、ヘリコプター飛行時の風圧に伴う小石等の飛散の危険がありますのでヘルメットを着用してください。
- (5) 取材時は必ず自社腕章を着用してください。
- (6) 訓練会場の駐車場はご利用できません。車両で来場はご遠慮ください。

問合せ先

〔 東京消防庁(代) 広報課報道係	電話 3 2 1 2 - 2 1 1 1
	内線 2 3 4 5 ~ 2 3 5 0

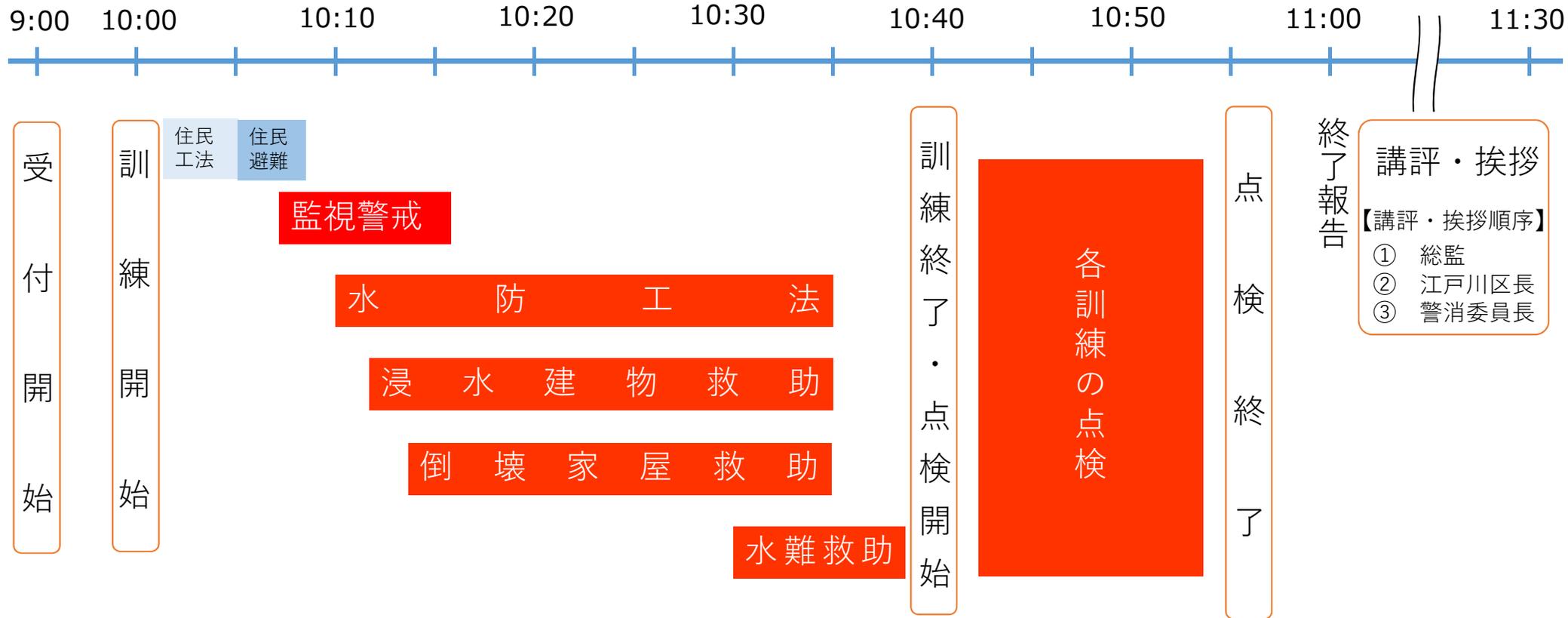
会場案内図



会場レイアウト



当日のスケジュール



※ P R コ ー ナ ー は 1 0 時 から 1 3 時 0 0 分 ま で 開 設